

BASE Vol.16

実践的基礎知識 債券編(1) <債券とは?>

2016/01/14

そもそも債券とは何か?

お金を貸したときに発生する権利、つまり、貸したお金を返してもらう権利と利息を受け取る権利を債権といいます。債券とは、お金を貸したときに発生する権利である債権を売買しやすくするために、その権利を有価証券の形にしたものです。このため債券投資はお金を貸すという性格を持ち、時間をかけて利金を積み上げる投資です。

そもそも債券とは?

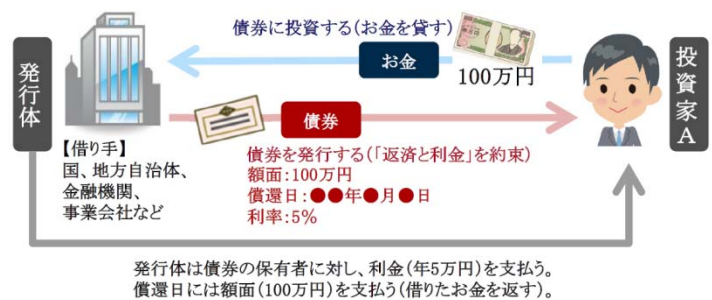
債券とは、お金を貸したときに発生する権利(債権=貸したお金を返してもらう権利と利息を受け取る権利)を売買しやすくするために、その権利を有価証券の形にしたものです。いわば、売買できるようにした借用証の様なものです。債券は、債券発行日(債券の発行体にとってお金を借りる日)、額面(返す金額)、利率(額面に対する利金の割合)、償還日(お金を返す日)などが決められて発行されます。

債券を買うということは債券の発行体にお金を貸し、「貸したお金を満期時に返してもらうことに加え、約束した利金を受け取る」権利を買うということです。

債券には発行体や格付けの違いなどにより様々な種類があります。例えば、割引債は利金が支払われない代わりに、発行時に額面金額より低い発行価格で発行され、償還時に額面金額で償還されることで、発行価格と額面金額との差(償還差益)が債券投資の収益となる債券です。

債券投資はお金を貸すという性格を持ち、時間をかけて利金を積み上げる投資というのが基本形です。よって、今回は利付債を例に説明します。

図表1:債券投資のイメージ



図表2:主な債券の種類

- 発行体による分類
 - 国債…………… 国(政府)が発行する債券
 - 地方債…………… 地方公共団体が発行する債券
 - 政府機関債…………… 政府関連機関が発行する債券
 - 社債…………… 民間企業が発行する債券
- 格付けによる分類
 - 投資適格債…………… 一般的にBBB格以上の格付けを有する債券
 - 投機的格付債…………… 一般的にBB格以下の格付けの、信用力の劣る債券
(ハイイールド債やジャンク債とも呼ばれる。)
- 利払いによる分類
 - 利付債…………… 一定期間ごとに利金が支払われる債券
 - 割引債…………… 額面より低い価格で発行される代わりに利金が支払われない債券

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

実践的基礎知識 債券編(1) <債券とは?>

債券の利回りと価格の関係

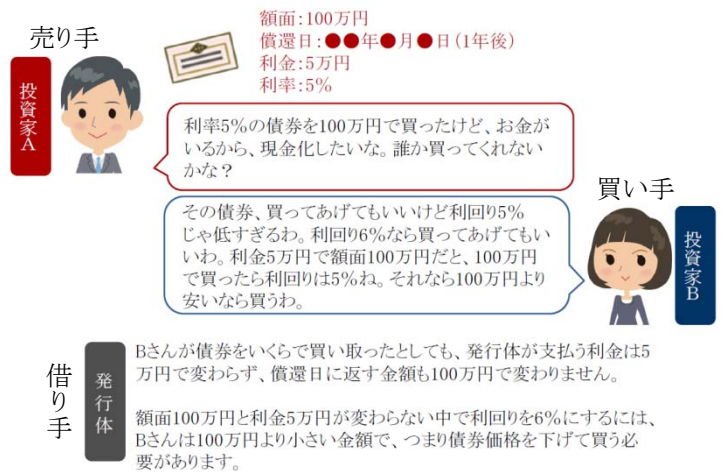
債券の価格も買い手の需要と売り手の供給のバランスで決まります。例えば、額面100万円、利金5万円(利率5%)で、一年後に償還される債券があったとします。その債券の需要が大きくなれば、4%でもいいから買いたいという買い手が出てきますし、逆に需要が小さくなれば、6%でないと買ってもらえなくなり、それでも買ってもらえなければさらに高い利回りを提示しないと買ってもらえなくなります(図表3)。

借り手が払う利金額と返済額は一定なので、買い手がより高い利回りを要求すれば買い手が買い取る債券価格を下げ、利回りを高くするしかありません。このように債券価格は債券の買い手が要求する利回りが上昇することで下がります。これが債券の利回りが上がることで価格が下落するメカニズムです。逆に、要求利回りが下がれば価格は上がります。供給に比べて需要が多い場合には、どうしても買いたいという買い手はより高い価格＝低い利回りを提示しないと買えません。このように債券の利回りの変動により債券価格が変動するリスクを債券価格変動リスクといいます(図表4)。

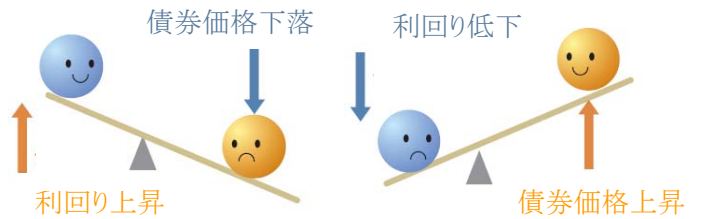
以上のように債券は債券利回りが上がると価格が下がり、反対に債券利回りが下がると価格が上がります。債券は発行時に利金と額面金額が決められているため、買取価格を変えることでしか利回りを変えられないためです。

債券投資のリスクの代表格は市場金利が変動して債券価格が変動する「金利変動リスク」、借り手(発行体)の懐事情(財務状況等)が悪くなるなどして利金や貸したお金を約束通り払ってもらえなくなったり価値が変動する「信用リスク」などがあります。また、外貨建てでお金を貸した場合には、為替損益が発生することで価値が変動する「為替変動リスク」があります(図表5)。債券投資においてもこうしたリスクに見合ったリターンが期待できるのか、そのバランスを考えることが大切です。

図表3: 債券価格が変動するメカニズム



図表4: 債券利回りと価格の関係(イメージ)



ポイント: 債券は発行時に利金と額面金額が決められていること

図表5: 債券投資に伴う主なリスク

債券価格変動リスク		為替変動リスク
金利変動リスク	信用リスク	

※上記以外にも途中償還リスクや流動性リスク、再投資リスク等があります。

BASE

「iInfo」はピクテのインターネット専用「iTrust」シリーズの 受益者のみなさまにご提供する**会員限定サービス**です。

ピクテのiInfoには投資家のみなさまの、
「プロ並みのファンドや市場環境の情報がほしい」
「投資に役立つ知識を自分のペースで学びたい」
 …というご要望を満たす様々な情報をご用意しております。

具体的には、iTrustシリーズのバリュエーションレポートやピクテの短期・長期の投資環境見通しを紹介した戦略レポート「Barometer」
 「Secular Outlook」、投資の基本をやさしく学べる「BASE VIDEO & TEXT」、コラム「投信新世代のための基礎知識」など、様々なコンテンツが用意されています。

iInfo詳細はこちら

<https://www.pictet.co.jp/itrust/iinfo>



iInfo

(「iInfo」で検索してください)



iInfo by Pictet Facebookページのご紹介

iInfoのFacebookページができました！
 ここでは、私たちが日々取り組んでいることや、
 みなさまのお役に立てそうなことなど、
 様々な情報をお届けしてまいります。

iInfo by Pictet Facebookページ
<https://m.facebook.com/iinfo.pictet.jp/>



iInfo

(Facebookで「iInfo」
と検索してください)

